

『フランス文学』執筆要綱

日本フランス語フランス文学会中国・四国支部

1. 用語は日本語またはフランス語とする。
2. 枚数は注を含めて、原則として、日本語の場合400字詰め原稿用紙35枚以内、フランス語の場合タイプ用紙（1行65～70字×30行）17枚以内とする。
3. 注は論文の終わりにまとめる。原稿では注も本文と同じ大きさの書体で示し、本文中には¹⁾ ²⁾ 等と右肩に小字で参照を指示する。この指示が、コンマ、ピリオドと同時に用いられる場合は、次の順序とする。
例：……指摘した。¹⁾ ……指摘したが、²⁾ ……
4. 作家、研究者の姓は2番目以下の文字にスモール・キャピタルを用いる。指定は文字を赤で囲む。
例：Victor HUGO
5. 欧文作品名、雑誌名はイタリック体とする。指定は赤で下線を付す。和文作品名、雑誌名は『 』で囲む。
例：Les temps modernes, 『フランス文学』
6. 引用文は、上下を一行分、左を二字分あけて、引用文であることをはっきりさせる。和文の中に改行せずに和文を引用する場合は「 」記号を、欧文を引用する場合は« »記号を用いる。
欧文の引用文は原則としてタイプで打つ。
7. 原稿は完成原稿とし、以上の印刷上の記号もかならずつける。
8. 執筆者による校正は原則として初校のみとする。
9. 執筆者には抜刷または本誌20部を贈呈する。

付 記

「日本フランス語フランス文学会中国・四国支部規約」、「『フランス文学』執筆要綱」は、2001年12月1日に開催された支部総会において改正されたものである。

「機関誌編集に関する申し合わせ」は、1987年11月28日に開催された支部総会において決定された。